

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	いきるちから		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 26日		~ 2026年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026年 1月 26日		~ 2026年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 9日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多業種のスタッフが在籍するため、支援の幅が広がること。	作業療法士や保育士や5年以上の経験を積む児童指導員が在籍しているため、いろいろな角度からの支援を方法を検討することができている。	外部、内部の研修を充実させていく。支援方法の深堀が出来るように、話し合いの場を増やしていく。
2	他事業所とのつながりがあるので、他事業所での良い取り組みを取り入れることが出来る。	子ども部会での交流を基に他事業所さんが行っている取り組みを参考にし、ご利用者様にマンネリ化せず、楽しい取り組みを提供するようにしている。	色々なツールを使い、取り組みが増えるようにしていく。
3	支援環境が整っている。	静と動の動きができる遊びや取り組みを考え、提供している。	ご利用者様のニーズに合った遊びを提供できるように情報を収集していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアトレーニングの取り組み、アプローチが少ない。	スタッフ知識不足のため、家族支援のプログラムや取り組みの環境が整っていない。	外部研修に積極的参加する。保護者様のニーズをもっと知るためにアンケート等を行っていく。
2	地域との関わり、繋がりが薄い。	地域での取り組み、行事の把握が出来ていない。	他事業所さんの取り組みに参加したり、地域のイベント情報を得るために、区役所など公共機関などに問い合わせを行うなど情報収集に努める。
3			